

1 学校教育目標

「心豊かな児童の育成」 ①みん ②なでつくる ③みなみしょう

2 目指す児童像

- やさしい子 (生命尊重、豊かな感性、思いやり、協調性を持つ児童)
- かんがえる子 (基礎・基本の学力、自己教育力、創造性のある児童)
- げんきな子 (健全な心身、根気、食への関心のある児童)

3 目指す教職員像

- 飯山満南小学校の教職員であることに誇りを持ち、組織の一員として互いに協調し、高め合う「同僚性」の高い教職員
- 研究と修養に励み、専門性の向上に努める教職員
- 職務に専念し、愛情をもって子供に接して、児童・保護者・地域から信頼される教職員
- ワークライフバランスを意識して行動する教職員

4 目指す学校像

- 温かい学校 (児童一人一人の良さが認められ、生かされる学校)
- 楽しい学校 (子供が学ぶ喜びにあふれ、楽しく学校生活を送れる学校)
- 美しい学校 (環境美化、整理整頓が行き届いた、落ち着いた雰囲気のある学校)
- 安全な学校 (安全指導の推進により、安心して過ごせる学校)
- 地域と共にある学校
(爽やかな挨拶・協働を通じて地域とのつながりを大切にする学校)

5 今年度の重点目標

- (1) 「基礎的・基本的な学習内容の定着」「探究的な学習」「協働的な学習」により、学力の向上と主体的に学習する態度を育成する。
- ①読書活動を推進する。
 - ②家庭との連携により、児童の家庭学習の習慣化を図る。
 - ③児童一人一人の実態把握に努め、指導方法の工夫改善を図る。
 - ④指導目標・指導内容を明確にし、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業を追究する。
 - ⑤ICT機器の効果的な活用を図る。
 - ⑥生活科及び総合的な学習の時間の工夫・改善に努める。(探究学習)
- (2) 体力の向上、健康や安全に対する意識の向上を図る。
- ①体育科指導の工夫・改善に努める。
 - ②休み時間や「南っ子タイム」の遊びを通して、運動に親しむ習慣を育む。
 - ③保健・安全指導の充実を図る。
- (3) 学校の教育活動全体を通して「自己効力感」を高める活動を行う。
- ①生徒指導の機能を生かした授業を推進する。

- ②特別活動を活性化し、児童の主体的な活動を支える。
- ③休み時間や「南っ子タイム」、兄弟学級による活動において、児童同士、教師と児童が共に遊んだり、協働したりする中で豊かな人間関係を育む。

(4) 全校体制で生徒指導・特別支援教育を推進し、豊かな人間性を育む。

- ①学校のきまりを全職員の共通理解のもとで指導にあたる。
- ②教育相談を充実させ、いじめのない温かい人間関係を構築する。人権教育の推進と道徳教育の充実を図る。担任が一人で抱え込まず、組織的に対応する。
- ③いじめ・不登校等の未然防止、早期発見と早期対応。組織を意識した対応。「報連相」＋「確認」の徹底。
- ④保護者及び関係機関との連携の推進。
- ⑤支援を要する児童への合理的配慮の充実と教職員の専門性の向上に努める。
- ⑥支援級との交流及び協働的な学習を推進する。

(5) 地域や家庭との連携・協働による、安全で地域とともにある学校づくりをする。

- ①一人一人の児童の指導について、家庭との連絡を密に行い、児童を健全に育てるという目標を共有して対応する。
- ②日常の教育活動について、積極的な情報発信や公開に努める。
- ③学校運営協議会を機能させる。
- ④PTAや学校応援隊との連携・協働による児童の安全確保や環境整備を行う。
- ⑤地域や外部の人材と連携した教育活動を推進する。

(6) 校内研修を充実させ、教師としての資質能力の向上を図る。

- ①研究の焦点化を図り、教職員全体で取り組む。
- ②経験年数等に応じた研修を行う。

(7) 幼保小及び小中の連携を推進する。

- ①小・中の年間計画を共有し、教育活動に生かす。
- ②学校行事・授業の相互参観・交換授業を行い、交流を進める。